

生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

生産性向上支援訓練 3つのポイント

1 企業ごとの課題に応じてオーダーメイドで訓練を実施！

- ・生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティングなど、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全58コース('19.2月現在））
- ・企業ごとの課題やニーズに応じてカリキュラムをカスタマイズして実施

2 訓練は自社会議室で受講可能！

- ・訓練は自社会議室で受講可能（専門の講師を企業に派遣します）
- ・訓練日時も企業の都合に合わせて事前に調整



3 受講しやすい料金設定！

- ・受講料は1人あたり3,000円～6,000円（税別）
- ・条件を満たす場合は人材開発支援助成金の利用も可能

'18年度
実績

受講者数 **24,806** 人
※'18.12月末実績

利用した企業数 **8,055** 社
※'18.12月末延べ実績

受講者評価
(業務への役立ち度) **97.8** %
※'18.12月末実績

訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

・センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースの コーディネート

・相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・コストの削減に取り組みたい。
- ・ITを活用して業務を効率化したい。

- 分野・コース
- 生産管理、品質管理、クラウド・IoT導入 など
 - 生産現場の問題解決 ・品質管理基本/実践
 - IoT活用によるビジネス展開 など

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・個人のノウハウを社内で見える化したい。

- 分野・コース
- 経営戦略、リスクマネジメント、組織力強化 など
 - 成果を上げる業務改善 ・事故をなくす安全衛生活動
 - 業務効率向上のための時間管理 など

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

- 分野・コース
- 営業・販売、マーケティング、プロモーション など
 - マーケティング志向の営業活動の分析と改善
 - 提案型営業手法 ・提案型営業実践 など

訓練受講

・所定の期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練を受講してください。

※予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉支部

ポリテクセンター埼玉 生産性向上人材育成支援センター

住所：埼玉県さいたま市緑区原山2-18-8
TEL：048-813-1081

ポリテク埼玉 生産性



生産性訓練 利用者の声①

株式会社丸秀 長井工場

「情報を常時豊富に活用できるように会社全体での取組みを加速させていきます」

利用コース情報

- ・訓練コース名：①クラウド活用入門
②IoT活用によるビジネス展開
- ・訓練期間：平成30年6月(①), 7月(②)
(ともに計2日間)
- ・受講者数：①②ともに11名
- ・ポイント：全社的なIoTの活用方法の検討

プロフィール

- ・所在地：山形県長井市
- ・従業員数：180名
1950年の設立以来トラック、乗用車、フォークリフト等の輸送用機器板金部品を主に生産している。
現在、品質の向上や生産性の大幅な向上を図るため、ITやIoTの活用推進に取り組んでいる。

<株式会社丸秀 代表取締役 小林 様>

Q 生産性向上支援訓練を利用した感想をお聞かせください。

A 訓練の準備に当たっては、当社のニーズに合わせたカリキュラムや訓練実施機関等をご提案いただき、講師の方々も来社されて詳細の調整をしていただきました。訓練の準備を綿密に進めてくれたことで、当社の求める知識、スキルを習得できる素晴らしい訓練になっていると感じています。

また、説明を聞くだけでなく、実際に機器を操作しながらの実践的な訓練になっていたところが素晴らしいと感じています。実データを基に実務に近い形で受講を重ねることで、各々の理解がより深まることを期待しています。

<訓練を受講した従業員の方の声>

Q 訓練で習得したことをどのように業務に活用していますか。

A 訓練で学んだ分析ソフトを用いて各工程の分析に取り組みはじめています。

今まではデータを様々な形に加工し、それぞれ「見える化」を行っていましたが、ツールを用いることで様々なデータを様々な形で「見える化」できるようになりました。また、結果を捉えやすくなり、分析に費やす時間が短縮できている点が良いと思います。

今後は、IoTから得られた情報及びデータを分析ツールを用いて、更なる目標設定や問題点の早期発見、対策へ繋がられるよう継続してスキルアップに励みたいと思います。



訓練風景

生産性訓練 利用者の声②

岩槻工業団地事業協同組合

「今後も組合事業の一つとして継続していきたいと考えています」

利用コース情報

- ・訓練コース名：生産現場の問題解決
- ・訓練期間：平成29年10月～2月
(計5日間)
- ・受講者数：10名
- ・ポイント：映像を活用した現場改善

プロフィール

- ・所在地：埼玉県さいたま市岩槻区
- ・組合員数：126社
岩槻工業団地事業協同組合は、1985年に地域産業の振興発展のために開発された岩槻工業団地内の事業者を中心に「岩槻工業団地連絡協議会」として発足し、2009年に現在の組合の結成に至る。
埼玉県下1番の組合員数を誇り、会員相互の親睦を図るとともに、地域の発展のためにさまざまな活動を展開している。

<岩槻工業団地事業協同組合 理事長 小澤 様>

Q 生産性向上支援訓練を利用したきっかけを教えてください。

A 当組合では、企業体力や資金面が十分でない企業がグローバル社会でも生き残ることができるように企業同士、組合同士のつながりを作ることを目的に、講演会の開催や企業見学の実施など、様々な交流の場を設けていますが、今回利用した生産性向上支援訓練については、ポリテクセンター埼玉から紹介していただき、組合の青年部が中心となって取り組みました。

他企業から学び、新しい経験をすることは人材の成長に重要ですが、現場で働く従業員にそのような機会を与えることは難しいです。生産性向上支援訓練には、他企業との交流の契機となることも期待しています。



訓練を利用された事業主の皆様

<(株)ニイガタ精密 代表取締役 本田 様>

Q 生産性向上支援訓練を利用した感想をお聞かせください。

A 訓練を受講して良かったのは、他企業の課題や考えを知り、幅広い知見や気づきを得ることができたところです。

訓練で学んだ「映像を活用した現場課題の改善」については、作業のマニュアルを作成するという形で現場フィードバックしています。マニュアルの作成に携わった現場では、マニュアル作成の過程で作業の改善点を発見する等、早速変化がみられています。